

平成 28 年 5 月 14 日
作成：会計理事 土方

平成28年度 機親会理事・評議員会 議事録

- 日 時** 平成 28 年 5 月 14 日(土) 12:30～15:00
- 会 場** 東京都市大学 2号館 1階 21A教室
- 出席者** 理事 松村、竹下、白木、土方、三留、松本、山田、堺、金子、大上、神田
評議員 内田、山本俊夫、荻野、岡田和也、菅野、足立、早瀬、木村
(※以上 19 名, 順不同, 敬称略)
顧問 安味、青山、関、九田 (以上 4 名, 順不同, 敬称略)
- 委任状** 理事 佐藤、熊谷、
評議員 鈴木祐次、山本卓、徳永、吉村、鈴木洋、千原、松井
(※以上 9 名, 順不同, 敬称略)
*機親会会則第 13 条 評議員会は、評議員 (理事・評議員) の 2 分の 1 以上の出席 (委任状含む) が必要。今回は※出席 28 名 (委任状含む) で評議員数 46 名の 2 分の 1 以上で成立している。
- 議長** 松村会長
- 議 事** 審議事項
1. 平成 27 年度 機親会事業報告 (案)
2. 平成 27 年度 機親会収支決算書 (一般会計) (案)
3. 平成 27 年度 機親会賞基金収支計算書 (案)
4. 平成 28 年度 機親会事業計画 (案)
5. 平成 28 年度 機親会予算 (一般会計) (案)
6. 平成 28 年度 機親会賞基金予算 (案)
報告事項
7. 平成 28 年 4 月 2 日開催 「機親会・記念懇親会」報告
8. 機親会 80 周年記念行事開催について
9. その他
審議事項
10. 平成 28 年度 理事評議員会議事録 (案) 確認

＊活動報告（審議事項の途中で報告）

1. 機親会学生会
2. 学生フォーミュラ

配布資料

- 資料1 : 平成28年度 理事評議員会 議事次第
資料2 : 平成27年度 機親会事業報告（案）
資料3 : 平成27年度 決算書（案）
資料4 : 平成27年度 機親会賞基金 収支決算書（案）
資料5 : 平成28年度 機親会事業計画（案）
資料6 : 平成28年度 予算書（案）
資料7 : 平成28年度 機親会賞基金 予算書（案）
資料8 : 機親会主催・記念懇親会 開催報告
資料9 : 機親会80周年記念行事打合せ議事録
資料10 : 機親会学生会活動報告
資料11 : Mi-tech レーシング活動報告
資料12 : H27 機親会理事・評議員会 議事録（8月1日）
資料13 : H27 機親会理事・評議員会 議事録（12月5日）

議事内容

審議事項

1. 平成27年度 機親会事業報告（案）

資料2に基づき平成27年度機親会事業報告（案）の提案、およびその関連質疑が行われた。

1) 議事：

- ① 理事・評議員会の議事録について：これまで、議事録は次回の理事評議員会で確認・承認を行っていたが、前回の理事・評議員会より、その会の最後に議事録承認を行うこととした旨が説明された。
- ② 機親会活性化のための事業：校友会ホームページに機親会のフォルダが作成され、活動報告が掲載された旨の報告があった。内容の改善案などを募集したいとの依頼があった。
- ③ 母校機械系学生への支援活動について：フレッシュャーズキャンプにおいて、機親会の銘入りUSBメモリの贈呈を検討している旨が説明された。（平成27年度は時間が無かったために見送られた）

2) 質疑：

- ① 項目1，理事評議委員会の開催，(1)および(2)について：日付を修正。
 - ・(誤) (1)28年8月1日，(正) (1)27年8月1日
 - ・(誤) (2)28年12月5日，(正) (1)27年12月5日

- ② 項目 2, 事業, (1)について: 下記を修正。
 - ・(誤) 校友会ホームページに機親会フォルダを解説し, (正) 校友会ホームページに機親会フォルダを開設し
- ③ 項目 3, (7)その他, ①について: 下記を修正。
 - ・(誤) 友会, (正) 校友会
- ④ 武蔵工業会館の改装について: 具体的にどのような改装が行われたのか, という旨の質問が上がった。この質問に対し, 内装の一新, これまで一つであったラウンジを二つに分けるレイアウトの変更, 女子トイレの設置が行われた旨が説明された。
- ⑤ 武蔵工業会館の改装について: 校友会および機親会からの資金の供出があるのか, という旨の質問が上がった。この質問に対し, 校友会及び機親会からの資金の供出はない旨が説明された。
- ⑥ 研究室補助費の記載が無いが平成 27 年度は無くなったのか, という質問が上がった。機親会収支決算報告において報告する旨が説明された。

以上 審議の上、平成27年度機親会事業報告が承認された。

2, 平成 27 年度 機親会収支決算書 (一般会計) (案)

資料 3 に基づき平成 27 年度機親会収支決算書 (一般会計) (案) の提案、およびその関連質疑が行われた。

1) 議事:

- ① 終身会費について: 機械が 110 名想定に対し 110 名, 機械システムが 105 名想定に対し 100 名であり, 5 名分の 10,000 円がマイナスとなった旨が説明された。
- ② 会合補助費について: 28 年 4 月 2 日実施の機親会・記念懇親会の粗品代が, 事前準備のための費用として計上され, 決算額が予算額を大きく上回ったことが説明された。
- ③ 事務用品費について: 機親会賞の印が, 前年度まで「武蔵工業大学機親会」のままであったため, 新しく「東京都市大学機親会」の印を作成した旨が説明された。機親会賞の印の代金が含まれるため, 決算額が予算額を大きく上回ったことが説明された。
- ④ 親睦会補助費について: 平成 27 年度のフレッシューズキャンプ補助費が, 会計の引継ぎの都合で前年度会計に含まれていたため, 決算額が予算額を大きく下回った旨が説明された。

2) 質疑:

- ① 校友会からの活動補助は毎年あるのか, という旨の説明が上がった。この質問に対し, 校友会からの活動補助は, 申請の内容を審査されたうえで金額が決定されることが説明された。また, 平成 28 年度についても申請を行う予定であり, 予算として計上されている旨が説明された。
- ② フレッシューズキャンプ補助費について: 平成 27 年度フレッシューズキャンプ補助費が前年度会計に含まれるのであれば, 平成 28 年度フレッシューズキャンプ補助費を

平成 27 年度の会計に計上すべきではないのか、という旨の質問が上がった。この質問に対し、平成 28 年度フレッシュャーズキャンプ補助費は平成 28 年度の会計に計上されているとともに、平成 26 年度および平成 27 年度フレッシュャーズキャンプ補助費が会計の引継ぎ時期が遅れた都合で平成 26 年度会計に計上されている旨が説明された。

- ③ 研究室補助費について：研究室補助費は決算書に存在するため事業報告に掲載すべきである、との意見が出された。前年度に策定された平成 27 年度事業計画には研究室補助の項目が存在しなかったため、新たに研究室補助の項目を追加することとなった。

以上 審議の上、平成27年度機親会収支決算書（一般会計）が承認された。

3. 平成 27 年度 機親会賞基金収支計算書（案）

資料 4 に基づき平成 27 年度機親会賞基金収支決算書（案）の提案、およびその関連質疑が行われた。

1) 議事：

- ① 機械および機械システムで、学部と修士各一名の計 4 名について賞状と記念品が贈呈された旨が説明された。また、内容については、おおむね例年通りである旨が説明された。

以上 審議の上、平成27年度機親会賞基金収支決算書が承認された。

4. 平成 28 年度 機親会事業計画（案）

資料 5 に基づき平成 28 年度機親会事業計画（案）の提案、およびその関連質疑が行われた。

1) 議事：

- ① 項目 1, 理事・評議員会の開催について：(2)が削除された。また、それにともない、項目 1, (3)を(2)に修正した。
- ② 項目 1, 理事・評議員会の開催について：平成 28 年度より、年度の区切りを 4 月にする旨が説明された。また、これにともない、理事会・および理事評議員会の開催時期が移動する旨が説明された。
- ③ 項目 2, (1)活発な広報活動について：平成 28 年度より、機親会の活動の周知を目的として会報の発行準備を進め、平成 29 年度の発行を目標とする旨が説明された。
- ④ 項目 2, (2)会員相互の交流について：本年度より、機械系の研究室で行われている同窓会に対して費用の補助を行う旨が説明された。
- ⑤ 項目 3, (3)機親会賞の授与について：下記のとおり修正が行われた。
・(誤)平成 27 年度の母校学位授与式で、(正)平成 28 年度の母校学位授与式で

2) 質疑：

- ① 平成 28 年度の事業計画に、研究室補助費を含めなくてもよいのか、という旨の質問が上がった。この質問により、平成 28 年度事業計画に研究室補助費の項目を追加する

こととなった。

- ② 機械工学セミナーへの OB 講師の派遣というのは、具体的にいつから行うのか、という旨の質問が上がった。この質問に対し、既に昨年度から機械工学科の機械工学セミナーに OB 講師（S55 卒，立石氏，大成建設）が参加している旨が説明された。また，講演の費用は機親会ではなく学科予算から支出している旨が説明された。
- ③ 事業計画を実現するために，限られた理事のみだけではなく評議員に協力を仰ぎ，機親会全体として役割の分担や具体的な方策を検討していくべきである，という意見が出された。この意見に対し，本年度より理事・評議員の役割を明確化して事業を進めていく方針としたい，とうい旨の説明が行われた。
- ④ 80周年記念総会について：80周年記念のような仰々しい名前を付けるべきではないのではないか，との意見が出された。名称については，再度検討することとなった。

以上 審議の上、平成28年度機親会事業計画が承認された。

5. 平成28年度 機親会予算（一般会計）（案）

資料6に基づき平成28年度機親会予算（一般会計）の提案、およびその関連質疑が行われた。

1) 議事：

- ① 寄付金について：寄付金に計上されている校友会からの学科同窓会支援費は，前年度実績を踏まえて30万円としてある旨が説明された。
- ② 会合補助費について：会合補助費は前年度実績に対し大幅増であるが，これは4月2日に行われた記念懇親会の予算と80周年記念行事の予算が含まれているためである旨が説明された。
- ③ 学生活動支援費について：学生活動支援費という項目は平成28年度より名称変更（旧称：学生奨励費）された項目である旨が説明された。また，予算額が各団体10万円に増額された旨が説明された。

2) 質疑：

- ① 会合補助費について：80周年記念懇親会の予算額が少ないのではないかと，こうした記念行事の際にこそ大きく予算を付けるべきではないのか，という意見が出された。
- ② 4月2日の記念懇親会の費用について，会費収入などが記載されていない，また，すでに懇親会は実施された後であり費用は確定値が出ているのではないかと（70万円程度ではないのではないかと），という質問が出された。この質問に対し，予算の策定期間が記念懇親会実施前の3月31日であり，この時点では見込みの金額が記載されている旨が説明された。また，記念懇親会にかかった費用が約69万円（会費収入含まず）であった旨が説明された。
- ③ 寄付金に計上されている校友会からの学科同窓会支援費は，平成28年度については4月2日の記念懇親会や80周年記念総会が行われるので，多く申請してもよいのではないかと，という意見が出された。この意見に対し，予算計上されている学科同窓会支援

費は30万円であるが、実際の校友会への学科同窓会支援費の申請には、4月2日に行われた記念懇親会の費用と80周年記念行事の費用を盛り込んだ額を申請する旨が説明された。また、ただ予算を使うだけでなく、会員からの寄付を募る形としてはどうか、という意見が出された。

以上 審議の上、平成28年度機親会予算（一般会計）が承認された。

6. 平成28年度 機親会賞基金予算（案）

資料7に基づき平成28年度機親会賞基金予算（案）の提案、およびその関連質疑が行われた。

1) 議事：

- ① 例年通り、機械および機械システムで、学部と修士各一名の計4名について賞状と記念品を用意する予定である旨が説明された。

2) 質疑：

- ① 予算書のフォーマットが統一されていないとの指摘があった。この指摘に対し、今後、統一することとなった。

以上 審議の上、平成28年度機親会賞基金が承認された。

報告事項

7. 平成28年4月2日開催 「機親会・記念懇親会」報告

資料8に基づき平成28年4月2日開催「機親会・記念懇親会」に関する報告、およびその関連質疑が行われた。

1) 議事：

- ① 平成28年4月2日に、本田技研工業（株）の八郷隆弘氏を招き機親会主催の記念懇親会が実施され、機械系の修士1年生を含む総勢97名が参加し、非常に盛況であった旨が報告された。

2) 質疑：

- ① 資料8の表記について、句読点等の統一がなされていないとの指摘があった。指摘のあった点については修正することとなった。

以上 報告が行われた。

8. 機親会80周年記念行事開催について

資料9に基づき機親会80周年記念行事開催に関する報告、およびその関連質疑が行われた。

1) 議事：

- ① 機親会80周年記念行事は、大学のホームカミングデー（10月30日、日曜日）に合わせての実施が検討されている旨が報告された。

- ② 記念行事の際には安味先生にご講演を頂きたい、という旨の説明が行われ、安味先生にご承諾頂いた。

以上 報告が行われた。

9. その他

- ① 理事会について：平成 27 年度、理事会を開催できていなかった旨が会長より説明された。このことに対し、今後、機親会の事業を円滑に進めるためにも理事の方々にも協力を仰いではどうか、という意見が出された。
- ② 顧問の河村氏は現在、外出不可能のため、顧問の継続が不可能であるという報告が安味氏より行われた。

審議事項

10. 平成28年度 理事評議員会議事録（案）確認

本議事録（案）の内容の確認が行われ、確認・修正の上、承認された。

* 活動報告（審議事項の途中で報告）

各団体より、活動報告が実施された。

1. 機親会学生会

2. 学生フォーミュラ

以上